県外学生のUターン就職を促進　参加募集

保護者のための就活セミナー「Uターン就職成功の秘訣とは」

企業の採用サポート、選考・研修業務を務めてきた経験豊富な講師が、保護者世代とは大きく変わった現在の「就活」について、最新の情報を交えながら、Uターン就職成功の秘訣などについて、分かりやすく伝えます。

【日時】9月23日（土・祝）14時～16時30分
【会場】リジェール松山（南堀端）
【対象】就職活動中の学生の保護者。将来就職活動予定の学生の保護者
【定員・料金】100人（先着順）。無料
【申し込み】9月15日㈮までに、二次元コード受け付け専用フォームまたは電話・ファクス・eメールで、氏名、電話番号、eメール、イベント名「保護者向けセミナー」を㈱スイッチカンパニー若者のUターン就職啓発事業係☎992-9600・FAX992-9608・eメール matsuyama@switch-net.co.jpへ（電話受け付けは月～金曜日10～17時）

二次元コード

「Uターン就職希望学生と若手社会人との交流会“マツヤマカフェ”」

県外に進学した本市出身学生などを対象に、「松山で働く、松山で生活する、松山で夢を追う」をコンセプトに開催する、Uターン就職のきっかけとなる交流会に参加希望の企業を募集します。

【日時・会場】東京会場＝11月11日㈯15時～17時30分。EBiS303（東京都渋谷区）▶大阪会場＝11月18日㈯15時～17時30分。リファレンス大阪駅前第４ビル（大阪市北区）
【対象】社会人経験10年未満の社員を派遣可能な市内に本社または支社がある企業
【定員】10社（１社２人まで。抽選）
【料金】無料（会場までの交通費は各自負担）
【申し込み】８月28日㈪までに、ファクスで申込書（市ホームページにあり）を㈱スイッチカンパニー若者のUターン就職啓発事業係FAX992-9608へ

問シティプロモーション推進課☎948-6707・FAX934-2578

子規・漱石生誕150年記念イベント

俳都松山宣言2017 ～十七音が未来を変える～

ゲストに「FUJIWARA」の藤本敏史さん、「フルーツポンチ」の村上健志さんを迎え、俳都松山大使・夏井いつきさんとのトークイベントや、１対１の句合わせ対決「俳句対局」を行います。

【日時】11月５日㈰▶開場12時30分、開演13時
【会場】松山市民会館（堀之内）大ホール
【内容】第一部 俳句トークイベント「藤本敏史×村上健志×夏井いつき」▶出演=藤本敏史さん、村上健志さん、夏井いつきさん
第二部「俳句対局」第3回松山市長杯＝熊本、斑鳩、松山で行ったトーナメント戦の優勝者３人に、第２回の優勝者を加えた４人による頂上決戦▶解説=夏井いつきさん▶進行=家藤正人さん▶審査員=宇多喜代子さん、高野ムツオさん、坊城俊樹さん、岸本尚毅さん
※来場者に記念品のプレゼントあり
【定員】1,700人（抽選・全席自由。入場整理券が必要）
【料金】無料
【申し込み】９月８日㈮まで（必着）。往復はがき（１人１枚限り）で住所、氏名、電話番号、申し込み人数（２人まで）を〒790-8571文化・ことば課（市役所本館５階）へ
※当選者には９月下旬に整理券を発送
問文化・ことば課☎948-6952・FAX934-1287

藤本敏史さん

村上健志さん

夏井いつきさん

“Soseki in the UK”参加の東高生が市長訪問

英国UCL（University College London）で開催される英国教育体験プログラム「UCL-Japan Youth Challenge」に参加しスピーチする松山東高の生徒らが、出発前の７月12日に市長を訪問しました。

このイベントは、子規・漱石生誕150年記念事業のテーマ「松山から世界へ　そして未来へ」につながる取り組みのため、本市が共催しています。

今年のテーマは“Soseki in the UK”で、７月25日に現地で行われる記念イベントに参加する生徒らがそれぞれ抱負を述べました。

野志市長は「本市の代表として松山の魅力を発信してほしい」と激励し、英国で配布する本市の子規・漱石生誕150年を記念して制作したＰＲグッズを贈呈しました。

問文化・ことば課☎948-6952・FAX934-1287

プロテイン・アイランド・松山2017

一般向け体験セミナー参加者募集▶9月29日㈮まで

タンパク質を自由に作り、医療分野などに応用する技術（愛媛大学・遠藤弥重太特別栄誉教授開発）の情報発信と次世代の研究者育成を目的に、先端技術を身近に感じてもらう『プロテイン・アイランド・松山2017』の一般向け体験セミナーを開催します。

【日時】10月21日㈯13時～16時30分
【会場】市役所本館11階大会議室
【内容】試験管の中でのタンパク質作りや、電気泳動を用いてDNAを分析する実験、タンパク質研究の講演
【対象・定員】実験や講演に興味がある人（中学・高校生優先）150人（抽選。うち実験100人）

【申し込み・問い合わせ】9月29日㈮までに、プロテイン・アイランド・松山ホームページhttp://www.pim-sympo.jp/public_seminar/または ファクスで申込書（市ホームページにあり）を地域経済課☎948-6714・FAX934-1844へ

インターナショナルフォトハイクフェスティバル
International Photo-Haiku Festival

第7回　瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト作品募集

旅先からの絵はがきにひと言添えるように、写真に５・７・５の句を詠んでみませんか。

【応募作品】海をテーマとした日本語・英語自由句部門＝「海」を写真または俳句で連想させるもの▶日本語・英語課題句部門＝課題写真に対して、日本語・英語の俳句のみ募集
【審査員（順不同）】日本語作品＝森村誠一さん（作家・写真俳句提唱者）、夏井いつきさん（俳人）など▶英語作品＝デビッド・マクマレイさん（国際俳人）
【発表】平成30年１月下旬（予定）に入賞者へ電話またはｅメールで通知
【表彰】平成30年２月３日㈯に子規記念博物館（道後公園）で実施の国際写真俳句イベントで表彰
【賞】日本語・英語自由句部門＝最優秀賞各1点（賞品3万円相当）など
【申し込み】11月30日㈭（必着）。申し込み用ホームページhttp://matsuyamahaiku.jp/contest/から、または郵送（日本語作品のみ）で作品と応募票（上記ホームページにあり）を〒530-0005大阪府大阪市北区中之島２-３-18中之島フェスティバルタワー18階朝日カルチャーセンター瀬戸内・松山国際写真俳句事務局へ
問朝日カルチャーセンター瀬戸内・松山国際写真俳句事務局☎06-6222-5224（日曜・祝日を除く10～ 18時）、観光・国際交流課☎948-6558・FAX943-9001

平成29年上半期

火災・救急統計

はっぴーカバー君

火災件数82件（前年比20件増）

【出火原因】「たばこ」が13件（15・9パーセント）、「たき火」が13件（15・9パーセント）、「こんろ」が11件（13・4パーセント）の順となり、この３種で全体の約45パーセントを占めます。また、「放火」と「放火の疑い」を合わせると10件（12・2パーセント）です。
【火災による死傷者】死者は４人（前年比１人減）、負傷者は19人（同7人増）です。
【火災予防対策】寝たばこはやめ、吸い殻は水につけて完全に消しましょう。乾燥した日や風の強い日はたき火をやめましょう。大切な家族の命を守るため、住宅用火災警報器を設置してください。

救急出場1万2420件（前年比137件増）

搬送人員は1万1528人（前年比203人増）で、1日平均68・6件、20分59秒に1回の割合で救急隊が出場し、約45人に1人が搬送されたことになります。
【事故種別】「急病」が7699件、「一般負傷」が1644件、「交通事故」が1292件の順となり、この３種別だけで全体の約86パーセントを占めています。
※救急車や救急医療は、限りある資源です。緊急を要する人のために、救急車の適正な利用をお願いします。
問火災＝㈳予防課☎926-9244・FAX926-9163、救急＝㈳警防課☎926-9227・FAX926-9188